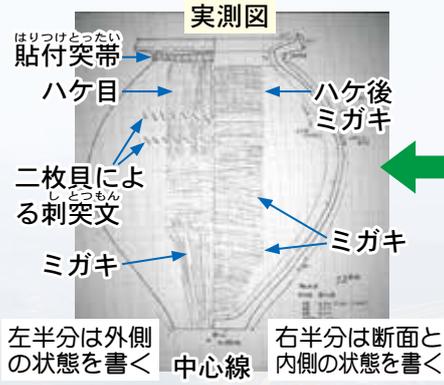


出土した土器を**実測**する  
ふちゅう歴史散歩  
Vol.119



土器の場合、必ず真横から見て計測



左半分は外側の状態を書く 右半分は断面と内側の状態を書く



寺ノ前遺跡出土土師器の壺

発掘調査によって出土した遺物を水で洗い、出土位置などを注記し、破片を接合した後、図化する作業のことを実測といえます。

実測は数多くの出土遺物の中から、作られた時代を表すものや、特徴的なものを選んで行います。ただ単にスケッチや写生をするのではなく、正確に計測して、原寸大で図面を書く作業です。手に取り触って、わずかな変化も見逃さないように観察して図化し、形や装飾・製法・技法など分かる限りの情報を記入します。実測することと、さらに深く遺物の状態を把握することができます。

実測の目的は、遺物の大きさや特徴を図面上に記録することです。図面を公開することにより、遺物を直接見るができないうちと情報を共有することができます。写真では正確な寸法が分かりませんが、実測図では大きさや外側と内側の状態、厚みなどの情報が分かれます。誰が見ても分かりやすく、正確な図面であることが重要です。

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

ふちゅう Sai 発見!

翁座の魅力を発信する動画制作 高校生編 その76



投稿者 (文と写真)

上下高校1年  
宮元 望さん

私は、きずな創成学Ⅰという授業で、上下町を活性化させるために、翁座の魅力を発信する動画制作をしています。翁座は大正時代に建てられた木造の芝居小屋で、昨年、国の登録有形文化財に登録されました。

10月にガイド協会の方に、翁座について取材しました。そこで、楽屋があることや提灯の裏に寄贈者の名前があること、天井がカーブしていることを初めて知りました。天井のカーブは、舞台からの音の広がりを計算して造られています。高度な機械がない時代に、木に熱した鉄を当てて丸い形を造ることに驚きました。取材をもとに、班で役割を決め、ストーリーボードを作成し、各場所の撮影イメ

ージやナレーションを考えました。私は花道を担当し、動画を見ている人が実際に歩いているように感じられるものにしました。12月には動画を撮影し、今は編集作業の真っ最中です。光の加減で画面がスムーズにつながれなかったり、思った以上に時間がかかったりと大変ですが、班のメンバー全員で動画完成に向け頑張っています。

この学習を通して地域の方々と関わることで、地域の魅力を再発見することができました。これからも自分の感じた魅力を発信していきたいと思っています。



府中市RCCラジオ番組「府中に夢中！」

毎週月曜日16:30~16:45 (そのうちの5分間) RCCラジオ (1530KHz)

放送日	放送内容
3月1日(月)	国登録有形文化財の翁座の紹介
3月8日(月)	子どもの作品「旭小学校」
3月15日(月)	子どもの作品「上下南小学校」
3月22日(月)	企業・起業家紹介「株式会社くにひろ屋」

2年目に突入!

ラジコでも聴ける!

公式SNS facebook



スマホアプリ radiko (ラジコ)



府中市メール配信サービス

